

■■化学療法投与計画書《PER+HER+PTX療法 PTX毎週》■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	
カナ氏名	生年月日	体重	kg	指示医
患者氏名	年齢	体表面積	m <sup>2</sup>	

Rp)ペルツズマブ(パージェタ) 初回840mg 2回目以降 420mg day1(3週毎)  
 トラスツズマブ(ハーセプチン) 初回8mg/kg 2回目以降 6mg/kg day1(3週毎)  
 パクリタキセル(タキソール) 80mg/m<sup>2</sup> day1、8、15(毎週)  
 3週毎

本管①	day1
生理食塩液	100mL 1 瓶

レジメンコメント1
レジメンコメント2

側管①	初回840mg、2回目以降420mg
大塚生食注	250mL 1 袋
ペルツズマブ	mg
〈腫〉パージェタ点滴静注	420mg:

側管②	【50mL】生理食塩液 50mL 1 瓶

側管③	大塚生食注 250mL 1 袋
トラスツズマブ	mg
トラスツズマブ点滴静注用	150mg 150mg:
トラスツズマブ点滴静注用	60mg 60mg:

パクリタキセル投与30分前にレスタミン錠10mg5錠(50mg)内服

側管④	30分
パロノセトロン点滴バッグ	0.75mg50mL 1 袋
ファモチジン注射用	20mg 1 瓶
デカドロン注射液	1.65m 4 管

側管⑤	インラインフィルター使用
大塚糖液5%	250mL(5%TZ) 1 袋
パクリタキセル	mg
〈腫〉タキソール注射液	100mg:
〈腫〉タキソール注射液	30mg:

Day8へ続く

★ペルツズマブおよびトラスツズマブ投与期間中、以下の症状(Infusion reaction)に注意すること

- ・発熱、悪寒 ・嘔気、嘔吐
- ・疼痛、頭痛、めまい ・咳、発疹、無力症など
- ・アナフィラキシー様症状
- ・間質性肺炎、肺障害

異常が認められた場合には解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤の投与等を行うとともに、症状が回復するまで患者の状態を十分に観察すること

＜注意すべき副作用＞

- 下痢 ●脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)
- 悪心・食欲不振 ●疲労・無気力
- 発疹 ●粘膜の炎症 ●白血球減少
- 間質性肺疾患

＜実施時の注意＞

- パクリタキセル  
漏出時:直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。  
0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与。  
点滴用セット等で本剤の溶解液が接触する部分に、可塑剤としてDEHPを含有しているものの使用を避けること。  
溶剤として無水エタノールを含有するため、投与前に問診により適切かどうか判断すること。
- トラスツズマブ  
ブドウ糖溶液との混合を避け、同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。